

平成30年度 美濃・手すき和紙体験講座 募集要項

- 目的 美濃市は1300年の伝統を受け継ぐ美濃和紙の産地として、国内外に知られています。その美濃和紙作りの基礎知識と抄紙技術を伝承して、美濃和紙愛好者の拡大と産地PRを図るため、次の通り短期（5日間）の手すき和紙体験講座を開催します。
- 期間 ① 5月講座 5月30日（水）～6月3日（日）
② 7月講座 7月4日（水）～7月8日（日）
③ 9月講座 9月5日（水）～9月9日（日）
※申込み状況により開催しない場合、また都合により日程を変更する場合があります
- 場所 美濃和紙の里会館（美濃市蕨生1851番地3）ほか
- 対象 18歳以上（高校生を除く）、性別、国籍は問いません。
※外国人の場合は日本語が理解できる、または専属の通訳をつけること
- 内容 手すき和紙の基礎知識と抄紙技術を学びます。詳細は別紙カリキュラム参照
- 講師 美濃和紙の里会館職員ほか
- 受講料 2万円
- 定員 各回2～4名（定員に満たない場合は開催しません）
- 申し込み 所定の申込用紙（**受講申込書**、**受講希望理由書**）、**履歴書**に、写真添付および必要事項を記入の上、美濃和紙の里会館へ郵送してください。（必着、電子メール不可）
- 締め切り ①5月講座：5月21日（月）
②7月講座：6月11日（月）
③9月講座：8月13日（月）
- その他
- ・**受講に必要なもの**／受講料、作業がしやすい服装、長靴、タオル、昼食、筆記用具など
 - ・**交通手段について**／当館は公共交通機関での移動はかなり困難な場所にあります。自家用車などの交通手段をご用意いただくことをお勧めします。
 - ・**宿泊について**／当館から10kmほどにある美濃市街地周辺（市役所・美濃市駅周辺）に宿泊施設があります。美濃市観光協会HPをご覧ください
- ◆ゲストハウス笑び◆（当館まで自転車で通える距離にあります）
一泊／2,500円～ 電話：0575-37-5339 E-mail:ikepon@mino-warabi.com

＜お問い合わせ＞ 美濃和紙の里会館 担当：須田
〒501-3788 岐阜県美濃市蕨生1851番地3
電話／0575-34-8111 Fax／0575-34-8280

美濃・手すき和紙体験講座カリキュラム

(5日間コース)

- 1日目
- ・オリエンテーション
自己紹介、カリキュラムの説明など
 - ・和紙の基礎講座(座学)・館内見学
美濃和紙の歴史、製造工程を学習します
 - ・紙すきの準備
道具の取り扱い方、紙すきの方法を学習します
 - ・紙すき実習(美濃判)
実際に紙すきを行います
- 2日目
- ・原料処理について
楮の水揚げ、煮熟、ちり取りの方法を学習、実習します
 - ・紙すき実習(美濃判)
 - ・乾燥実習(美濃判)
漉きあげた美濃判を乾燥機で乾燥させます
 - ・ちり取り実習
楮の黒皮などのちりを取り除きます。
- 3日目
- ・ちり取り実習
 - ・叩解実習
ちり取りを終えた原料を叩解し細かくほぐします。
 - ・紙すき実習(大判)
大判の紙すき実習を行います。化粧水、縦揺り、横揺り、払い水といった美濃和紙伝統の流し漉きの技法を学びます。
- 4日目
- ・紙すき実習(大判)、乾燥実習(大判)
 - ・自由制作
落水紙、揉み紙など、色々な紙の製法を学びながら、自由に紙を制作します。
- 5日目
- ・紙すき実習(大判)、乾燥実習(大判)
 - ・紙の選別
紙を透かして破損、傷、不純物の有無、厚薄などの選別方法を学習します

美濃・手すき和紙体験講座 受講申込書

平成 年 月 日

美濃市長 武藤 鉄弘 様

住 所 〒 _____

ふりがな
氏 名 _____ 印

生年月日 昭和・平成 年 月 日生

(20歳未満の場合)

保護者氏名 _____ 印 本人との続柄 _____

電 話 _____ 携帯電話 _____

E - m a i l _____

職 業 _____

美濃和紙の里会館までの交通機関

自家用車 その他 ()

美濃手すき和紙体験講座を受講したいので、下記の通り申し込みます。

記

1. 受講希望月 第1希望:平成30年 月 第2希望:平成30年 月

2. 受講希望理由 別紙のとおり

注意事項

- (1) 保護者記入欄は受講希望者が20歳未満の場合に署名、押印を願います。
- (2) 受講希望年月日は平成30年5月・7月・9月のいずれかをご記入願います。

写真添付

